いまのいまじゅりい

活動報告

◆第 18 回研究会が開催されました

(日時) 2009年12月13日(十) 午後1:00~

(場所) 京都精華大学 黎明館 L202

(内容)

① 展覧会解説

展覧会解説① 「EXLIBRIS 蔵書票」展について 熊田 司 会員 (大阪市立近代美術館建設準備室) 展覧会解説② 「京都圖案の伝統と冒険 芸艸堂」展について 山田 俊幸 会員 (帝塚山学院大学)

② 展覧会見学

展覧会見学「京都圖案の伝統と冒険 芸艸堂」展(於:京都精華大学情報館)

③ 研究発表

研究発表① 高畠華宵画の幻想性はどこからくるか

-日本少年の表紙絵の人物と絵の背景のズレを中心に-

梶田 雄一朗 (京都精華大学大学院)

研究発表② 金城安太郎の挿絵―沖縄に受け継がれた大正ロマン的なものを探る―

岡本(金城) 美奈子 (文化の杜共同企業体)

研究発表③ 写真に見るモダニズムの間隙―岡本東洋の花鳥・鳥獣写真を中心に 高橋 千晶 (同志社大学嘱託講師)

◆常任委員会が開催されました

(日時) 2009 年 12 月 13 日 (土) 午前 11 時 15 分〜 (場所) 京都精華大学 黎明館 L102 (協議事項)

- ① 全国大会について
- ②学会誌『大正イマジュリィ』4・5号について
- ③役員交代について
- ④ 『大正イマジュリィ辞典』(仮称) について
- (5) その他

活動予定

◆第7回全国大会開催決定!

- (日時) 2010年3月6日(十)7日(日)
- (場所) 碧南市藤井達吉現代美術館
- (内容) 総会

シンポジウム (会場美術館と共催/テーマ未定) 第19回研究会 (発表者募集)

※ 現在発表者を募集中です。発表ご希望の方は、事務局までご連絡下さい。(1月31日募集締切)

《会員消息》

(1) 前村文博会員より(展覧会・イベント情報)

「〈写生尾〉のイマジネーション 杉浦非水の眼と手」展(2009年11月22日〜2010年1月17日)

於:宇都宮美術館 (TEL 075-463-0007)

(展覧会内容/宇都宮美術館ホームページより)

杉浦非水(1876-1965)は明治・大正・昭和にかけて目覚しい活躍をみせた図案家です。故郷の愛媛県松山市で 日本画を学んでいましたが、上京後洋画家黒田清輝が将来したアール・ヌーヴォー様式の図案に魅せられて以 降、本格的に図案家の道を志します。三越呉服店時代の一連の仕事やポスター《東洋唯一の地下鉄道 上野浅 草間開通》は、日本の近代デザイン史上の傑作として位置づけられています。本展覧会ではとくに非水の創作の 根本にある透徹した写生精神に注目します。駆け出しの頃から晩年に至るまで生涯にわたって自然の草花や動 物をモチーフとした生命力溢れる図案を多数制作しました。近年再評価の声が高まりつつある木版画集『非水百 花譜』などはその代表的な作例といえるでしょう。非水にとっての"写生"とは、単に対象物をあるがままに描くとい うこと以上の意味を持っていました。それは、徹底した観察によってのみ眼前に立ち表れてくるモチーフの無限の 表情をいかに実直に把握しえるのか、さらにその上で万物の生命感をいかに自らの図案作品として昇華しえるの か、というデザインに限らず同時代のあらゆる領域の創作一般が抱える根源的な問題意識を有するものであり、 だからこそ非水の図案の魅力が長い年月を経った今でも色褪せることなく多くの人々に愛されているのではない でしょうか。 本展覧会では上記の代表作はもちろんのこと、例えば東京美術学校から中央新聞社時代までの初 期作品群あるいはヨーロッパ遊学時代(1922~24年)のスケッチや写真などこれまでほとんど紹介されなかった貴 重な作品資料を可能な限り展示することによって、非水のデザイン活動の全体像とその変遷を詳細に跡づけるこ とを目指しています。さらに、創作のインスピレーションであり、且つ図案家としての"眼と手"の修養に少なからぬ 影響を与えた世界各国の工芸品や海外のポスターを中心とした非水旧蔵コレクションの一部を展観することによ って、非水デザインの位相を多角的に検証していきます。

事務局から

住所や所属が変更になられた方は、学会事務局までお知らせ下さい。また会員の皆様からのイマジュリィ情報やご消息も併せてお寄せください。なお、ニュースレターは基本的にメールで配信しています。メールアドレスをまだ学会事務局にご通知でない方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

「大正イマジュリィ学会」ニュースレター(vol.8)いまのいまじゅりい

(発行)「大正イマジュリィ学会」

(編集) 高畠華宵大正ロマン館(学会事務局/ 愛媛県東温市下林) (phone) 089-964-7077/(fax) 089-964-7222/(E-mail) museum@kasho.org